



2025年度 視察セミナーを開催しました！

去る6月4日(水)～5日(木)の日程で、2025年度 書店研究会 視察セミナーを開催しました。

書店研究会員8名にご参加いただき、北海道の書店取組事例や先進的な商業施設の事例を視察しました。

書店では各店舗の方にお時間をいただき、取組などをご説明していただきました。

以下、視察の様子について、詳しくご報告いたします。

1. 書店

①江別蔦屋書店（北海道江別市牧場町14-1、営業時間9:00～21:00）

特徴	・札幌市から車で30分ほどのベッドタウンに位置。「暮らし」「知」「食」といった3つのテーマごとの棟があり、1棟500坪の広さを誇るロードサイド店。BOOKだけでなく20ものテナントが入居している。
感想	・イベントコミュニティを重視して集客を行っており、約50回/月の頻度で実施。 ・客層や近隣の環境など実際に見てみないと実感できないものがあったので、見学できて良かったです。 ・地域に根差したイベント、地域との関係性を構築していた点が良いと感じました。



「暮らし」の棟ではアパレルやキッズコーナー、雑貨を豊富に取り揃え、関連する雑誌や書籍を販売。「知」の棟がいわゆる書籍・雑誌の棟になるが、それ以外の棟でも書籍の販売がされていたり、上部に飾られていたり、3棟全体で書籍を感じられる空間となっていた。

あらゆるところでイベントの告知がされていた。キッチンスペースもあり、本格的なイベントも開催されている。



②紀伊國屋書店札幌本店

(北海道札幌市中央区北5条西5丁目7 sapporo55 営業時間10:00～21:00)

特徴	・2フロア1,300坪の広さだが、札幌駅から徒歩4分と駅近の立地。 ・高さのある棚に上から下まで商品が並んでおり、紀伊國屋書店チェーン内でTOP5に入る在庫量。一般書を中心に、幅広く商品を取り揃えている。 ・2階にはスターバックスが併設されており、目当ての商品を購入したり、目的なくゆったりと過ごしたり、様々な方が利用しやすい店舗。
感想	・札幌市内、もしくは道内で圧倒的な支持を得ているのではないかと感じました。



8段のクリアケースがそびえる特徴的な雑誌棚。表紙が見える陳列のため、手に取りやすい。



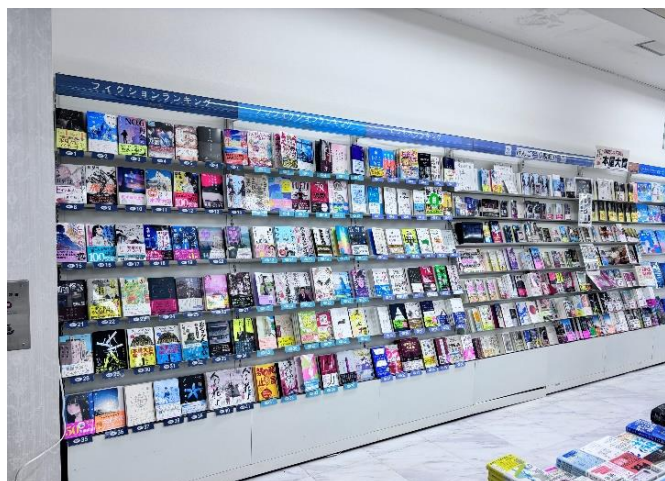
フェア台では手作りのモニュメント、児童書コーナーには大きな時計など、目を引く工夫がされている。

③コーチャンフォー美しが丘店

(北海道札幌市清田区美しが丘1条5丁目 営業時間9:00～21:00)

特徴	・コーチャンフォーの1号店。チェーン内で最小の店舗であるが、1,500坪の広さを持つ。 ・「コーチ・アンド・フォー」=4頭立ての馬車が由来。書籍/文具/ミュージック/飲食の4つの柱で事業を展開。書籍が半分の売上を占めている。 ・作者あいうえお順に並べたり、CF限定特典を付けたり、100位ほどまであるランキングなど、独自の取り組みをおこなっている。
感想	・その後のお店の礎になったお店と感じました。 ・ロードサイド型の集客コンテンツをいろいろとみることができて勉強になった。





広さを活かした壁一面のランキング棚は見ごたえがある。

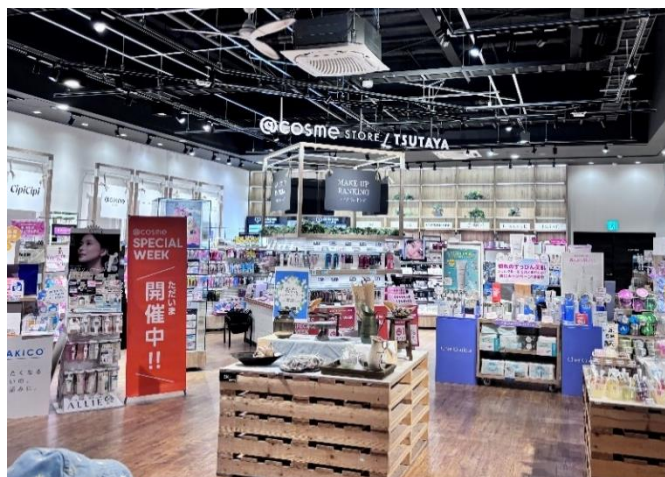


2階にはマルシェやガシャポンコーナーがある。どちらも広いスペースで豊富な品揃えとなっており、ここを目当てに訪れる人も多そう。

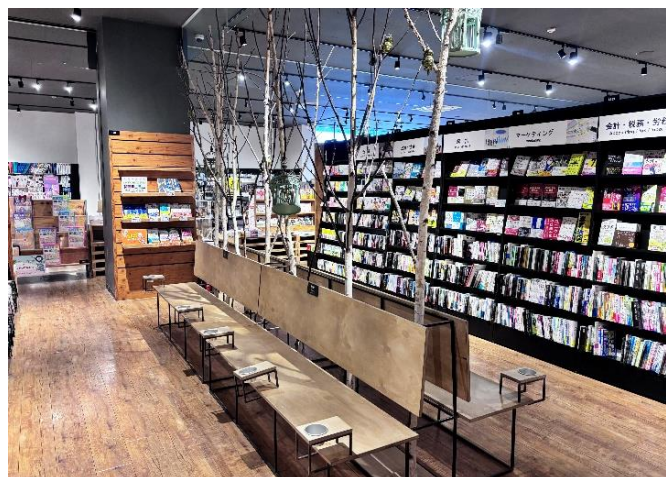
④TSUTAYA美しが丘

(北海道札幌市清田区美しが丘3条4丁目1-10 営業時間10:00～20:00)

特徴	・木目調の店内に、木材のパレット什器や棚が並ぶ。ベンチスペースもあり、館内全体がひとつのカフェ空間となっている。 ・日本最大のコスメ・美容の総合サイト「@cosme」の実店舗が北海道内で初めてオープン。レンタル事業の後にはアカチャンホンポなどを導入。本と親和性のある雑貨も数多く揃っている。
感想	・TSUTAYAの共通課題である「レンタルのあと」にヒントをもらうことが出来ました。大小およそ15以上の企画（私たちが言うブックやレンタルなどの「部門」の数）が行われていたところに驚きでした。スタッフさんもPOPUPや地元の制作者さんとコミュニケーションをとってきたとお話ししてくださり、最早TSUTAYAではないように感じました。



北海道初の@cosme store実店舗は、店内の雰囲気に馴染みつつ、豊富な品揃えで女性に嬉しいコーナー。

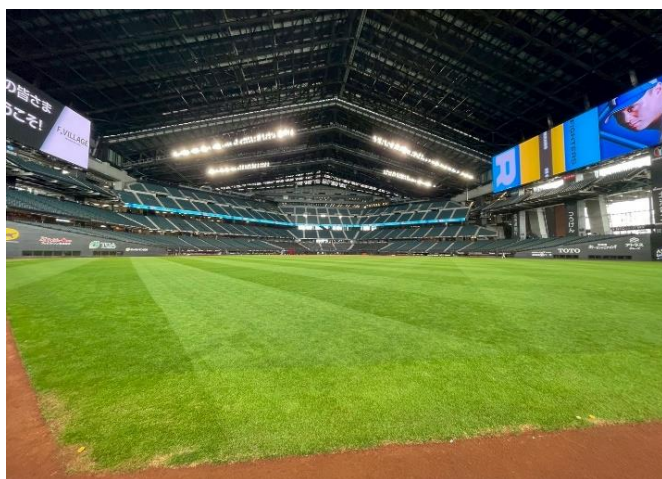


ベンチにはドリンクポケットがあり、飲み物を購入してゆったりと過ごすことができる。

2. 商業施設

① エスコンフィールドHOKKAIDO（北海道北広島市F ビレッジ1番地）

特徴	・日本エスコンが手掛けた球場および複合施設。北海道日本ハムファイターズの本拠地で、周辺には飲食商業施設やコミュニティスペースを有し、試合がない日でもたくさんの方が訪れる。 ・国内初の開閉式ドームや天然芝、芝の育成のための一面ガラス張り、そして日本最大の大型ビジョンなど、最新鋭のスタジアム。
感想	・試合が無い日にどのような集客を行える仕組みが作られているのかを実際に体験できました。 ・地域振興としてのスポーツビジネスの可能性を再認識させられました。 ・エスコンはまだ新しい事もあり、試合がない日でもツアーなどで訪れる人が多いと感じました。飲食店もたくさんあり、楽しめる施設になっていました。



正面のガラス窓から日が差し込み解放感のある球場。



プレミアムラウンジやシートがいくつかあり、色々な楽しみ方がある。

② トナリエ北広島（北海道北広島市栄町1丁目52 営業時間9:00～22:00）

特徴	・日本エスコンが手掛ける商業施設。20店舗以上の飲食店がある。 ・JR北広島駅西口と歩行者デッキで直結しており、アクセスが非常に便利。また、施設前からはエスコンフィールドHOKKAIDOへのシャトルバスも運行しており、試合観戦の前後に立ち寄るなど野球観戦の拠点となっている。
感想	・商業施設としては見劣りを感じましたが、エスコンに行く途中にある、価値をイベントで感じました。



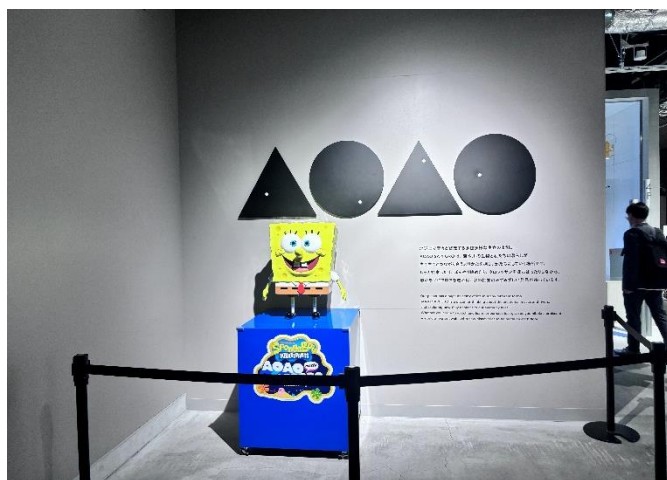
2. 商業施設

③AOAO SAPPORO

(北海道札幌市中央区南2条西3丁目20 moyuk SAPPORO 4階)

営業時間10:00～22:00)

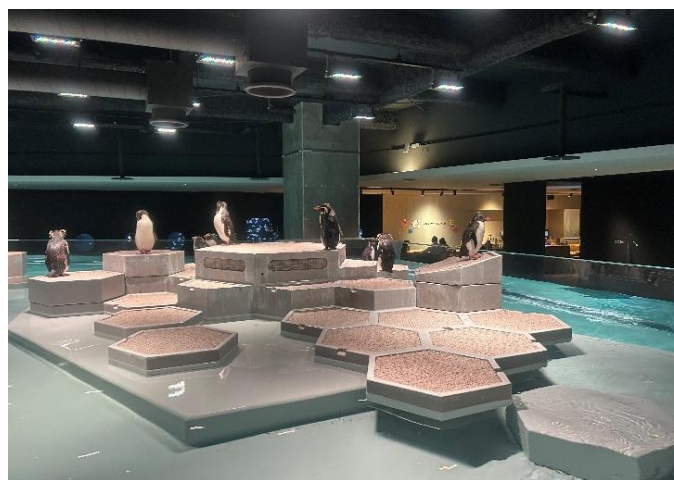
特徴	・“生命のワンダーみえないものがみえてくる”をコンセプトにした都市型水族館。「moyuk SAPPORO」という商業施設の4～6階に位置するが、ペンギンコーナーなど本格的な展示ゾーンもあり、十分に楽しめる館内である。
	・「LIBRARY AQUARIUM」エリアでは水槽の隣に本を設置。水槽内の生き物に連動させたり、その生き物の擬音から連想した選書をおこなっている。日販と文叟六本木が売場作り・選書に関った書店「WONDER BOOKS」もあり、本と生物との出会いがテーマとなっている。
感想	・動物の本をジャンル越境で集めた売場は一般の書店にもあっていいと思った。 ・水族館は純粋に楽しんでしまいました。。。企画としての本の価値を感じましたし、本は万能でいつ、何時でも、何処でも、本の価値を付帯出来るものだと考えました。



LIBRARY AQUARIUMの水槽と本棚
都市型水族館のおしゃれな空間にマッチしている。



水槽の生物と説明と選書を照らしあわせて楽しむことができる。



通常的水族館よりも小スペースとなっているからこそ、生き物をより近いところで見ることができ、ちょっとした空き時間にも寄りやすいと感じた。



2025年度視察セミナーの開催報告は以上です。来年度も視察セミナーを検討しておりますので、訪ねてみたい店舗様や視察先がありましたら、ぜひ事務局までお声をお寄せください。

今後の活動予定

◆ 2025年度 書店研究会セミナー

2025年度の書店研究会セミナーについて、秋頃の開催を予定しております。詳細が決まりましたら改めてご連絡いたしますので是非ご予約いただき、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

※ご意見・ご要望はこちらまでお願いします※

書店研究会 事務局（日販マーケティング統括本部ストアソリューションチーム）

E-mail ryutsu-gakuin@nippan.co.jp 東京都千代田区神田駿河台4-3 TEL. 03-3233-4791